

感染状況・医療提供体制の分析(7月19日公表)

【岡山県専門家有志】 詳細
(東京都統括コメント参照) →



区分	モニタリング項目 公表の前週(月~日)の合計	前回の数値 (7月12日公表) 7月1日~7月7日	現在の数値 (7月19日公表) 7月8日~7月14日	前回との比較	分析コメント	
感染状況	① 定点当たり 患者報告数 <small>(注:報告者数は、県内84定点医療機関において、1週間に診断した患者数。定点当たり数は、1医療機関当たりの、1週間での平均患者数。)</small>	報告数	472人	782人	→	感染状況コメント レベル3. 感染が拡大しつつあり警戒が必要 定点当たり患者報告数は 9.31人 と増加。RSウイルス感染症や手足口病も増加傾向で、手足口病やA群β溶血性レンサ球菌咽頭炎は例年に比べ多い。 全国的にも岡山でも、人流の増加、新しい変異株の出現、免疫の低下、感染対策が弱まったことなどが寄与しているのか新型コロナウイルス感染は増加傾向。昨年と同じく、お盆にかけ増加傾向が見込まれ、今後医療機関の逼迫が予想される。体調不良時は人と会うのを控えるといった心がけや、状況に応じたマスクの適正使用、適切な換気が必要となる。 入院患者も増加継続しており注意が必要。 ハイリスク患者は早期診断・治療が必要。
		定点当たり数	5.62人	9.31人	→	
		報告数に占める60歳以上の割合	25.2%	32.1%	→	
	② 保健所別 定点当たり 患者報告数 <small>(注:定点医療機関は、地域により患者数や患者の年齢構成にばらつきがあり、地域別の単純比較は多少の問題があるが、同じ地域で時系列の変動を見て、流行の推移を見るには有用)</small>	岡山市保健所	3.95人	5.50人	→	
		倉敷市保健所	7.63人	13.88人	→	
		備前保健所	4.27人	8.27人	→	
		備中保健所	6.83人	12.75人	→	
		備北保健所	12.83人	16.50人	→	
	真庭保健所	3.67人	4.33人	→		
	美作保健所	2.90人	5.00人	→		
入院状況	③ 入院患者数 <small>(入院基幹定点サーベイランスより)</small>	28人	39人	→		
	④ 人工呼吸器利用 <small>(入院基幹定点サーベイランスより)</small>	1人	1人	→		

*入院状況については、基幹定点医療機関(5箇所)での入院基幹定点サーベイランスより取得。感染状況コメントの中に、医療提供体制に関するコメントも付記します。